

届書コード	処理区分

届書

資格取得・種別変更・種別確認(3号該当)
 資格喪失・死亡届
 氏名・生年月日・性別変更(訂正)
 被扶養配偶者非該当

事務センター長 所長	副事務センター長 副所長	グループ長 課長	担当者

③裏面を必ずお読みの上で記入してください。
 ④第3号被保険者等の配偶者
 ⑤第3号被保険者等の配偶者
 ⑥第3号被保険者等の配偶者
 ⑦第3号被保険者等の配偶者
 ⑧第3号被保険者等の配偶者
 ⑨第3号被保険者等の配偶者
 ⑩第3号被保険者等の配偶者
 ⑪第3号被保険者等の配偶者
 ⑫第3号被保険者等の配偶者
 ⑬第3号被保険者等の配偶者
 ⑭第3号被保険者等の配偶者
 ⑮第3号被保険者等の配偶者
 ⑯第3号被保険者等の配偶者
 ⑰第3号被保険者等の配偶者
 ⑱第3号被保険者等の配偶者
 ⑲第3号被保険者等の配偶者
 ⑳第3号被保険者等の配偶者
 ㉑第3号被保険者等の配偶者
 ㉒第3号被保険者等の配偶者
 ㉓第3号被保険者等の配偶者
 ㉔第3号被保険者等の配偶者
 ㉕第3号被保険者等の配偶者
 ㉖第3号被保険者等の配偶者
 ㉗第3号被保険者等の配偶者
 ㉘第3号被保険者等の配偶者
 ㉙第3号被保険者等の配偶者
 ㉚第3号被保険者等の配偶者
 ㉛第3号被保険者等の配偶者
 ㉜第3号被保険者等の配偶者
 ㉝第3号被保険者等の配偶者
 ㉞第3号被保険者等の配偶者
 ㉟第3号被保険者等の配偶者
 ㊱第3号被保険者等の配偶者
 ㊲第3号被保険者等の配偶者
 ㊳第3号被保険者等の配偶者
 ㊴第3号被保険者等の配偶者
 ㊵第3号被保険者等の配偶者
 ㊶第3号被保険者等の配偶者
 ㊷第3号被保険者等の配偶者
 ㊸第3号被保険者等の配偶者
 ㊹第3号被保険者等の配偶者
 ㊺第3号被保険者等の配偶者
 ㊻第3号被保険者等の配偶者
 ㊼第3号被保険者等の配偶者
 ㊽第3号被保険者等の配偶者
 ㊾第3号被保険者等の配偶者
 ㊿第3号被保険者等の配偶者

⑦配偶者の氏名 氏フリガナ キョウサイ タロウ 共済 太郎		⑧配偶者の生年月日 年 月 日 明. 1 9 0 × 0 × 0 × 昭. 5 平. 7		⑨第3号該当 非該当 ★ 該当 ● 非該当(変更)	⑩変更内容 非該当(変更)の場合 ★ 1. 死亡 2. 氏名変更(訂正) 3. 生年月日訂正 4. 性別訂正 5. その他
⑪配偶者基礎年金番号又は手帳記号番号 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2		⑫配偶者住所 〒 2 3 1 0 0 2 3 住居コード (フリガナ) ヨコハマシ ナカク ヤマダチヨウ 横浜市 中区 山下町 1234		⑬備考	

組合員本人の記入欄

⑭基礎年金番号又は手帳記号番号 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4	⑮生年月日(訂正後) ★ 明. 1 年 月 日 大. 3 昭. 5 平. 7	⑯手帳記号番号	⑰資格取得・種別変更・種別確認の理由 ★ア. 配偶者が被用者年金制度に加入 イ. 配偶者の所属する年金制度等の変更 ウ. 婚姻 エ. 本人の離職(2号喪失) オ. 本人の所得減少 カ. その他() a. 厚生年金保険→共済組合 b. 共済組合→厚生年金保険 c. 共済組合→共済組合	⑱被扶養配偶者でなくなった理由 ★06. 死亡(平成 年 月 日死亡) 03 その他 所得増加のため
--	--	---------	---	---

⑲被保険者氏名 氏フリガナ キョウサイ ハナコ 共済 花子		⑳生年月日(訂正前) ★ 明. 1 年 月 日 大. 3 昭. 5 平. 7	㉑性別 ★ 男1 女2	㉒資格取得(種別変更・種別確認)年月日 年 月 日	㉓被扶養配偶者でなくなった日 年 月 日
㉔郵便番号		㉕被保険者住所(配偶者と別居の場合のみ記入) (フリガナ) 同居		㉖氏名変更(訂正)年月日 年 月 日	㉗外国人区分 ★ 0. 日本人 1. 米国人(強制) 2. 以外の外国人
㉘訂正後取得年月日・種別 ※ 年 月 日 ※ 1. 第1号 第3号 2. 任意		㉙要年金手帳送付 ※ 1. 宛名シール作成	㉚受給権確認表示 ※ 下記以外は省略 1. 65歳以上の扶養配偶者が受給権を有さないことを確認された場合	㉛納付書作成 ※ 1. 納付書作成しない	㉜種別(注) 強制付番指定 36 ※ 1. 強制付番指定

被扶養配偶者(第3号)の非該当となる者の記入欄

⑲組合(保険者)番号	⑳(注) 30 第3号A(厚生年金保険・船員保険) 36 第3号G(地方公務員等共済組合) 31 第3号A(厚生年金保険・健康保険) 37 第3号J(日本私立学校振興・共済事業団) 32 第3号C(国家公務員共済組合)	㉔事業主等受付年月日	㉕年金事務所 受付印 被扶養者認定
------------	---	------------	----------------------

配偶者が基礎年金番号を持っていない場合のみ加入年金制度の組合(保険者)番号を記入してください。

⑲組合(保険者)番号

被扶養配偶者(第3号)の非該当となる者の氏名・捺印取消し事由が「死亡」の場合は、組合員の氏名・捺印をお願いします

上記のとおり被保険者から第3号関係の届出がありましたので提出します。

〇届書記載の基礎年金番号又は年金制度の記号番号は、当該配偶者等のものに相違ないことを確認する。

平成 年 月 日提出

〒 -

事業所所在地

(事業所名称) 事業主氏名 印

電話 (局) 番

上記のとおり被保険者から第3号関係の届出がありましたので提出します。

〇第3号該当の届出の場合、記載の被保険者は、健康保険又は共済組合に加入している者の被扶養者であることを確認する。

認定年月日 平成 年 月 日
(資格取得(種別変更・種別確認)年月日と同じ場合は記載の必要はありません。)

平成 年 月 日提出

所在地 〒 -

(医療保険者) 代表者等氏名 印

電話 (局) 番

この届書記載のとおり届出します。

日本年金機構理事長あて

平成 〇 × 年 〇 × 月 〇 × 日 提出

住所 **231 - 0023**
横浜市 中区 山下町 75

(届出人) 氏名 **共済 花子** 印

電話番号 **045 (111 局) 2222**

【記入上の注意】

1. 文字は、楷書ではっきり記入してください。
2. ★印の箇所は、該当する項目の数字等を○で囲んでください。
3. ※印の箇所は、記入しないでください。
4. 生年月日や資格取得年月日など年月日を記入する場合は、和暦を記入してください。たとえば、平成22年1月1日の場合は、「

年	月	日
2020	01	01

」のように記入してください。

【記入の方法】

1. ㉗、㉘及び㉙は、第3号被保険者に該当したときの届出を行う場合又は第3号被保険者が被扶養配偶者に該当しなくなったときの届出を行う場合に記入してください。
配偶者が基礎年金番号を持っていない場合は、㉚の「組合（保険者）番号」欄に、加入年金制度の組合（保険者）番号を記入してください。
2. ㉛は、第3号被保険者に該当したときの届出を行う場合は「該当」を、それ以外の場合は「非該当（変更）」を○で囲んでください。
3. ㉜は、死亡又は氏名等の変更（訂正）の届出を行う場合又は第3号被保険者が被扶養配偶者に該当しなくなったときの届出を行う場合に記入してください。
4. ㉝、㉞及び㉟は、必ず記入してください。
5. ㊱は、生年月日訂正の届出を行う場合にのみ記入する欄ですので、それ以外の場合は記入しないでください。
6. ㊲は、基礎年金番号の他に年金手帳番号を持っている場合に記入してください。
7. ㊳及び㊴は、その他の場合、（ ）内に理由を記入してください。㊴が死亡の場合は、死亡年月日を記入してください。
8. ㊵、㊶及び㊷は、氏名、生年月日及び性別を記入してください。
氏名変更（訂正）の届出を行う場合は、変更（訂正）前の氏名を記入のうえ二重線で抹消し、その上段に変更（訂正）後の氏名を記入してください。
性別の訂正を行う場合は、訂正後の性別を○で囲んでください。
9. ㊸は、配偶者である第2号被保険者による扶養が開始された年月日を記入してください。
10. ㊹は、被扶養配偶者でなくなった日を記入してください。
11. ㊺及び㊻は、配偶者と同居しているときは、㊺に「同居」と記入してください。別居しているときは、郵便番号及び住所を記入してください。
12. ㊼は、氏名変更（訂正）の届出を行う場合に記入してください。
13. ㊽は、第3号被保険者に該当したときの届出を行う場合又は氏名変更（訂正）の届出を行う場合に記入してください。
14. ㊾は、第3号被保険者に該当したときの届出を行う場合に記入してください。
15. ㊿は、第3号被保険者に該当したときの届出を行う場合に、（注）を参照し、配偶者の加入する年金制度に該当する2けたの数字を記入してください。
16. この届書の右下の届出人記入欄に、この届書の提出年月日、届出者の住所、氏名及び電話番号を記入し、押印してください。（第3号被保険者本人が自署した場合は押印の必要はありません。）

【この届書に添付して提出するもの】

1. 第3号被保険者の年金手帳など。（死亡の届出の場合は不要です。）
2. 第3号被保険者に該当したときの届出を行う場合は、以下の書類。
 - (1) 配偶者の年金手帳など。
 - (2) 配偶者である第2号被保険者の被扶養配偶者であることが明らかとなる書類。
※医療保険の被扶養者の届出に同様の書類を添付する場合は、この届書にはこれらの書類を添付する必要はありません。